

# 第1回 学校評価(6月)の結果と方策

\*Aは、90%以上、Bは80%以上、Cは、80%未満

評価対象	質問内容( )は、職員用	教職員	数値目標	保護者	方 策
I 保護者等との連携	学校からの便りや、学校のWEBページなどで学校の様子が分かりますか(学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っている)	B	80	A	○学校WEBページ、学校だより、学年だより、保健だよりを引き続き、定期的に発行します。 ○欠席者への連絡や学校での出来事などを連絡帳や電話等でこまめに伝え、連絡を密に取り合います。
	授業参観や学校の行事に参加していますか(保護者は、授業参観や学校行事に参加している)	B	80	A	○学年だよりや学習予定表、連絡帳や学級委員さんを通し、保護者の皆様に出席を呼びかけます。 ○懇談会の内容を工夫します。例えば、保護者の悩みに応えるようなテーマや講演会などを実施します。 ○学級懇談会の際に、ビデオを見せたり、読書をさせたりしながら子ども達を預かり、保護者が懇談会に参加しやすいようにします。
	学校は、お子さんの事などで相談しやすいですか(保護者が学校に連絡や相談がしやすい環境づくりに努めている)	A	80	B	○情報交換をこまめにおこない、相談しやすい体制を取ります。
II 確かな学力	お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか(楽しく分かる授業作りに努めている)	B	80	B	○教材研究を充実し、授業の質を高めます。 ○朝学習などの時間を使って計画的、効果的な基礎基本の習熟を図ります。 ○児童一人一人の実態を把握し、個に応じた指導を徹底します。
	お子さんは、基礎基本が身に付いていると思いますか(基礎基本が確実に身につくよう指導している)	A	80	C	○算数の少人数では、個に応じた習熟度クラス編成も取り入れます。 ○学び合いの場を設定します。 ○学力検査結果を活用します。
	お子さんは、自主学習や読書の習慣が身に付いていますか(自主学習や読書の習慣が身に付くよう指導している)	B	80	C	○便り等で、家庭学習や読書推進を保護者の皆様に対して行います。 ○宿題等も含め、家庭学習の時間は発達段階に応じて時間を決め、取り組んでいない児童には連絡帳や電話等で保護者の皆様の協力を求めます。(家庭学習の手引配布) ○宿題を毎日発達段階に応じて出します。 ○低学年においては週1回は図書室で図書を借りる時間を設け、読書の習慣を身に付くよう指導します。
III 豊かな心	お子さんは、あいさつや返事がしっかりできますか(進んであいさつをし、はっきり返事ができるよう指導している)	B	80	B	○折に触れ、あいさつや言葉遣いや行動について指導を進めます。 ○教師からあいさつ行います。 ○道徳の時間や学活であいさつの大切さについて考える機会を意識的に設けます。 ○便り等や懇談会等で家庭や地域にも協力を求めます。
	お子さんは、楽しく学校へ通っていますか(児童が楽しく学校へ通えるように努めている)	A	80	A	○友達の中に入れられない子には、グループを活用したり、より多くの友達とふれ合う機会を意図的に作っていきます。 ○学校が心の居場所となり、自己有用感を持てるようにしていきます。
	学校はいじめ防止に向けて取り組んでいますか(いじめ防止に全力を尽くして取り組んでいる)	A	80	B	○いじめ等の問題行動の早期発見、個に応じたきめ細かな相談、情報の共有を組織的・継続的に取り組みます。 ○いじめを絶対に許さない判断力・行動力を育てます。
	お子さんは、友達に対して優しく接していますか(思いやりの心が育つよう指導している)	A	80	A	○道徳教育の充実を図ります。 ○一人一人を大切にしたい思いやりのある学年・学級経営を展開します。 ○縦割りの団班活動を充実させます。 ○折に触れ、言葉遣いや行動については指導し、特に、言葉遣いについては1年生より指導の徹底を図ります。
	お子さんは、学校の決まりが守れていますか(学校の決まりが守れるよう指導している)	A	80	A	○決まりを守ることで、安全に楽しく学校生活を送れることを理解できるよう繰り返し児童に指導していきます。 ○決まりを守ることの大切さについて指導していきます。
	学校の生活指導は適切ですか(児童の間違った行動に対して適切に指導している)	A	80	A	○傾聴、受容、共感を大切に、子ども達の話をしっかり聞き、適切な指導を学校全体で進めます。
IV 心身の健康と体力	お子さんは、規則正しい生活をしていますか(規則正しい生活を送れるよう指導している)	A	80	B	○家庭訪問や教育相談、たより等で、「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかけます。 ○学級活動や保健学習、保護者との連携で、自己管理能力を育てます。 ○給食時間を通して、食育を推進します。
	お子さんは、積極的に運動をしていますか(児童が積極的に運動するよう指導している)	B	80	C	○休み時間、外で遊んだり運動したりするよう呼びかけます。(放送で体育委員会も呼びかけをする) ○休み時間に学級単位で校庭に出るようにするなど、運動する機会を設けます。
V 安全確保・施設整備	学校施設は安全が保たれていますか(安全点検を定期的に行っている)	A	80	A	○毎月、安全点検を実施します。 ○体育指導前、使用する器具等の点検を実施します。 ○毎週、遊具の安全点検を実施します。
	お子さんが、交通安全に気をつけるように話していますか(児童が自分自身で命を守るよう指導している)	A	80	A	○全校集会や、学級の学活などで繰り返し交通安全について話をしていきます。 ○交通安全教室や自転車教室を実施します。
	地域ぐるみで、登下校の安全が保たれていますか(地域と連携して安全対策に取り組んでいる)	A	80	B	○帰りの会の下校指導の際、交通安全・不審者への意識を高させます。 ○地域、行政、PTA、と連携し、通学路等の点検、見直しを図ります。 ○各学期毎に職員も交通指導を行います。
VI 進路生き方	お子さんと将来の夢について話す機会を設けていますか(将来の夢や希望について家庭で話し合う機会を持てるよう働きかけている)	B	80	C	○学級活動や道徳の授業等で子どもの夢や希望を語り合う時間をとります。(七夕の短冊、新年の抱負、未来の私への手紙) ○便り等を活用し、話題提供を図ります。 ○夢カード作成の際、親子で将来の夢や希望を話し合い、励ましの一言を書いてもらいます。(夢カードの配付時期 11月前半)
VII 運組織	学校支援ボランティアとして学校をサポートしてみたいですか(学校は、ボランティアの人達の力を活用している)	A	80	C	○学校支援の内容を広く伝え、参加しやすい環境を整えていきます。 ○必要に応じて、地域や保護者の方々へ、ボランティアの協力を呼びかけます。